

氷河期

井上晃輔（熊本大学）

Z世代なんて名前つけられちゃって  
次はどうするつもりなんでしょうね

としお叔父さん種を蒔く  
狸 とことこ寄ってくる  
意味ないのにね耳へ囁く  
としお叔父さん鍬を持つ  
狸 とことこ逃げていく

としお叔父さんみたいにな  
なったらいけんのよあんたは  
叔父さん勉強はできたけど  
大学でぐうたらして ぐうたらしたけん  
ああなったんよ

あんたは ああなったらいけんのよ  
ぶくぶく ぶくぶく 太って  
自分の肉に溺れとるみたい  
働き損ないの あの シボウノカタマリ  
あんたは勉強できるくらいで  
調子乗ったらいけんのよ  
謙虚でおらないけんのよ

としお叔父さんが  
あんたにもし 話しかけてきたらね  
できるだけニコニコ 笑っときなさい

なんか返事したりしちゃ いけんけね  
気づいたら

お母さん 助けに行くけんね

としお叔父さん罨を張る

狸 のこのこやって来る

疑似餌に尿を引っかける

としお叔父さん銃を持つ

狸 とつとと茂みへ帰る

ママはああ言うけど

パパは嫌いじゃないよ としおさん

ママは一緒に育ったから

あの人の 嫌なところも

人一倍知ってるんだろう

でもな

いいか どんな人間にも

見習うべきところと

そうじゃないところがある

パパにもある

ママにもある

それと同じように としおさんにもある

見習うべきところもあるように

そうじゃないところがある

あんたは それを見極めなさい

それも勉強だ いいか

パパが見る限りだけどね

としおさんのそれはね

ちよつとだけ致命的なんだ ちよつとだけね

としお叔父さん釣竿ふる

狸 よたよた這ってくる

コンクリの上へばってる

としお叔父さん小魚やる

狸 へばってる

もう一匹だけやる

狸 へばってる

あともう一匹やる

狸 みんな唾えてすたこら逃げる

兄ちゃん似とるよ

としお叔父さんに

デブじゃないとこ

以外は全部似とる

アルファ世代って言うんだそうです

オメガ世代まではもちますね

あとは どこで

切り分けるか ですね

雪の激しい夜

乗り合い馬車はぎゅうぎゅう

としお一人で ぎゅうぎゅう

としおの腹に

背中に腰に 心に

抱え込まれた

ブルー・ド・シユイフ 彼女こそ

としおであり また

彼女に満たされた

この馬車こそ としお である

としおは 馬六頭に引きずられる  
まま

背骨じみた

か細い道を駆ける 駆けている

その傍から 傍から

狸が飛びつく

襲い来る

金玉の皮をおっ広げ

としおの窓にへばりつく

としおの車輪を絡みとる

としおの脂肪を溶かす

悪性の液体を

分泌 ぶくぶく 泡立つ脂肪

としおは みるみる 萎んで

それでも猛然と

雪の中を

背骨じみた道を 駆ける

股ずれのせいで

半歩ずつしか歩けなかった

部屋を出るのさえ億劫がっていた

寝る時につける 呼吸を楽にする

ダイバーみたいなマスクを

男性雑誌の裏に 放置して

カビだらけにした

あのとしおが

駆ける

駆けている

馬だつてとしお だつた

としおは湯気をあげる

としおは蹄を鳴らす

炎のような

息を吐き

としおは

いなく

いなく なる